
警報機能付
デジタル指示計

AE500

イニシャル設定説明書

輸出貿易管理令に関するご注意

大量破壊兵器等（軍事用途・軍事設備等）で使用されないことがない様、最終用途や最終客先を調査してください。

なお、再販売についても不正に輸出されない様、十分に注意してください。

理化工業製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品をお使いになる前に、本書をお読みいただき、内容を理解されたうえでご使用ください。なお、本書は大切に保管し、必要なときにご活用ください。

表記上の約束

警告 : 感電、火災(火傷)等、取扱者の生命や人体に危険がおよぶ恐れがある注意事項が記載されています。

注意 : 操作手順等に厳密に従わないと機器損傷の恐れがある注意事項が記載されています。

参考 : 操作手順や説明文の中などで、例外的な条件や注意が記されています。

 : 特に、安全上注意していただきたいところにこのマークを使用しています。

※ : 表や図において、例外的な条件や注意がある場合、または補足説明がある場合に、このマークを使用しています。



- 本製品の故障や異常がシステムの重大な事故につながる恐れがある場合には、外部に適切な保護回路を設置してください。
- すべての配線が終了するまで電源をONにしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 本製品は、記載された仕様の範囲内で使用してください。火災・故障の原因になります。
- 引火性・爆発性ガスのあるところでは使用しないでください。
- 電源端子など高電圧部に触らないでください。感電の恐れがあります。
- 本製品の分解、修理、および改造はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。

注 意

- 本製品はクラスA機器です。本製品は家庭内環境において、電波障害を起こすことがあります。その場合は使用者が十分な対策を行ってください。
- 本製品は強化絶縁によって、感電保護を行っています。本製品を装置に組み込み、配線するときは、組み込み装置が適合する規格の要求に従ってください。
- 本製品は、計装パネルに設置して使用することを前提に製作されていますので、使用者が電源端子等の高電圧部に近づけないような処置を最終製品側で行ってください。
- 本書に記載されている注意事項を必ず守ってください。重大な傷害や事故につながる恐れがあります。
- 配線を行うときは、各地域の規則に準拠してください。
- 機器破損防止および機器故障防止のため、本機器に接続される電源ラインや高電流容量の入出力ラインに対しては、適切な容量のヒューズ等による回路保護を行ってください。
- 製品の中に金属片や導線の切りくずを入れないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 端子ネジは記載されたトルクで確実に締めてください。締め付けが不完全だと感電・火災の原因になります。
- 放熱を妨げないよう、本機の周辺をふさがないでご使用ください。また通風孔はふさがないでください。
- 未使用端子には何も接続しないでください。
- クリーニングは必ず電源を切ってから行ってください。
- 本製品の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。なお、シンナ類は使用しないでください。変形、変色の恐れがあります。
- 表示部は硬い物でこすったり、たたいたりしないでください。

ご使用の前に

- 本書は、当社のサービスマンまたは認定された方を対象としています。また、本書では、読者が電気関係、制御関係、コンピュータ関係および通信関係などの基礎知識を持っていることを前提としています。
- 本書で使用している図や数値例、画面例は、本書を理解しやすいように記載したものであり、その結果の動作を保証するものではありません。
- 当社は以下に示す損害をユーザーや第三者が被っても、一切の責任を負いかねます。
 - ・本製品を運用した結果の影響による損害
 - ・当社において予測不可能な本製品の欠陥による損害
 - ・その他、すべての間接的損害
- 本製品を継続的かつ安全にご使用いただくために、定期的なメンテナンスが必要です。本製品の搭載部品には寿命があるものや経年変化するものがあります。
- 本書の記載内容は、お断りなく変更することがあります。本書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点などがありましたら、当社までご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で転載、複製することを禁じます。

目 次

1. モードの切換	1
▪ 1.1 イニシャル設定モードへの切換	1
1.2 イニシャル設定モードの終了	4
2. 設定方法	5
▪ 2.1 イニシャル設定モード内の表示フロー	5
2.2 各パラメータの設定方法	6
2.3 イニシャルコード0 (Cod=0) のパラメーター一覧	9
2.4 イニシャルコード1 (Cod=1) のパラメーター一覧	15
2.5 イニシャルコード2 (Cod=2) のパラメーター一覧	20
3. 通信イニシャル識別子	21

MEMO

1. モードの切換

イニシャル設定とは、本機器の仕様にかかわる部分（入力の種類、入力レンジ、警報の種類等）や、計器の特性にかかわる部分（設定リミッタ等）の設定を行うことです。

1.1 イニシャル設定モードへの切換

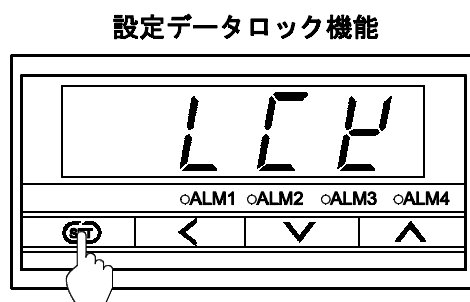
※図中の  の部分は暗点灯を示しています。

①本機器の電源をONにします。電源をONにすると、入力種類、PV表示の順番で切り換わります。

②PV表示の状態で、SETキーを2秒間押して、パラメータ設定モードに切り換えます。

※パラメータ設定モードの詳細は、AE500取扱説明書[IMAE01-J□]を参照してください。

③SETキーを押して、設定データロック機能表示（LCK）に切り換えます。

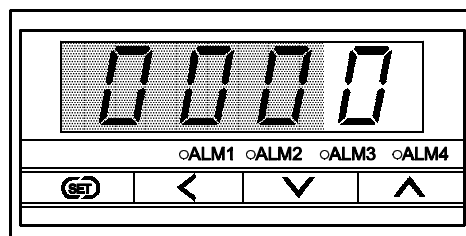


④シフトキーを押して、キャラクタ表示から設定値表示に切り換えます。

設定データロックのキャラクタ表示

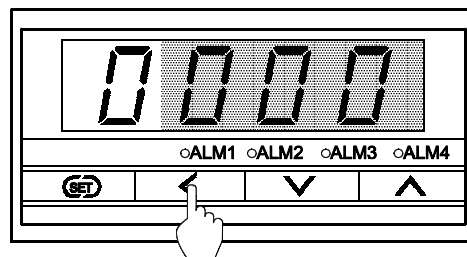


設定データロックの設定値表示

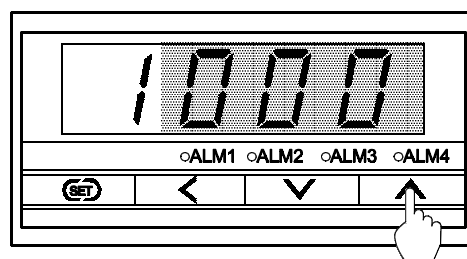


次ページへ続く

- ⑤シフトキーを押して、千位の桁を明点灯させます。



- ⑥アップキーを押して、千位の桁の数値を「0」から「1」にします。

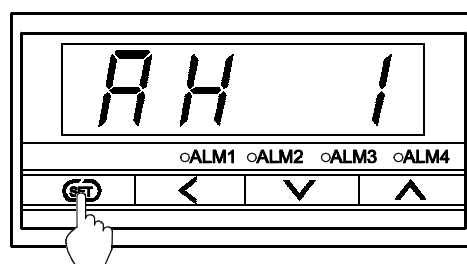


設定値

- 0 : イニシャル設定モード
ロック状態
1 : イニシャル設定モード
ロック解除

- ⑦SETキーを押して、次のパラメータに切り換えると、イニシャル設定モードのロックが解除されます。

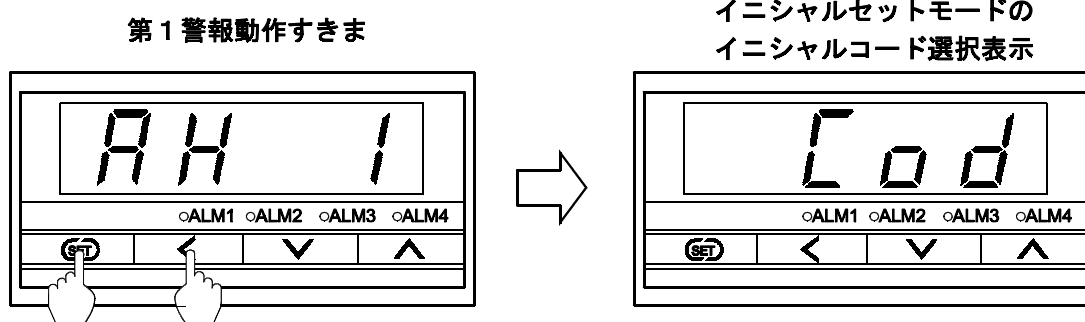
第1 警報動作すきま



※上の図では、第1 警報動作すきまを表示していますが、表示されるパラメータは仕様によって異なります。

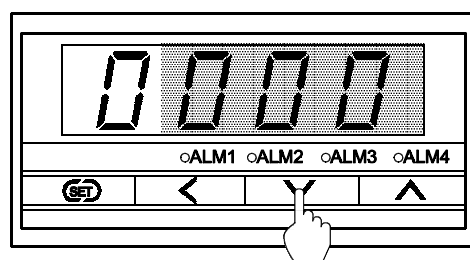
- ⑧シフトキーを押しながらSETキーを2秒間押し続けると、イニシャル設定モードに切り換わります。

イニシャル設定モードに切り換えると、最初に「イニシャルコード選択」が表示されます。



1.2 イニシャル設定モードの終了

- ①各パラメータの設定が終了したら、シフトキーを押しながらSETキーを2秒間押し続け、PV表示に切り換えます。
- ②PV表示の状態では、SETキーを2秒間押して、パラメータ設定モードに切り換えます。
- ③SETキーを押して、設定データロック機能表示（LCK）に切り換えます。
- ④シフトキーを押して、キャラクタ表示から設定値表示に切り換えます。
（P.1の④を参照）
- ⑤シフトキーを押して、千位の桁を明点灯させます。（P.2の⑤を参照）
- ⑥ダウンキーを押して、千位の桁の数値を「1」から「0」に設定します。

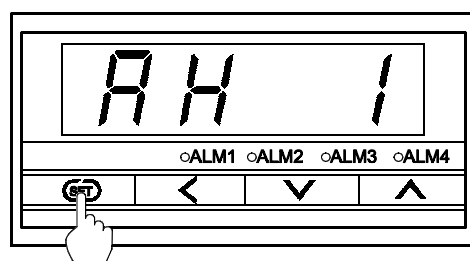


設定値

- 0 : イニシャル設定モード
ロック状態
- 1 : イニシャル設定モード
ロック解除

- ⑦SETキーを押して、次のパラメータに切り換えると、「イニシャル設定モードロック状態」の設定が有効になります。

第1 警報動作すきま



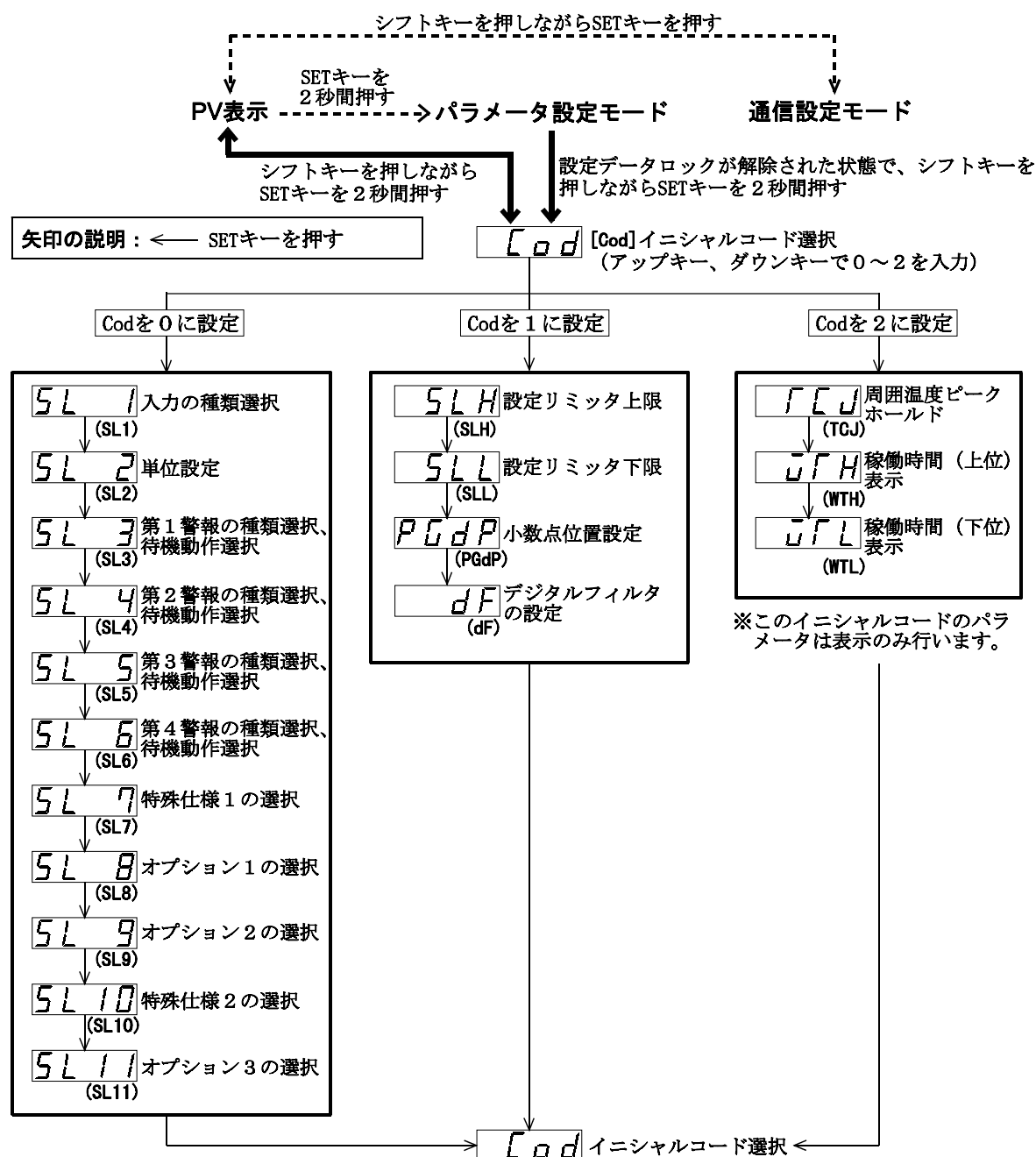
※上の図では、第1 警報動作すきまを表示していますが、表示されるパラメータは仕様によって異なります。

2. 設定方法

2.1 イニシャル設定モード内の表示フロー

イニシャル設定モードに切り換えると、最初にイニシャルコード選択が表示されます。イニシャル設定項目の内容は、イニシャル設定モード内で3つのイニシャルコードグループに区分されています。

注 意 仕様によって表示されないパラメータがあります。



2.2 各パラメータの設定方法

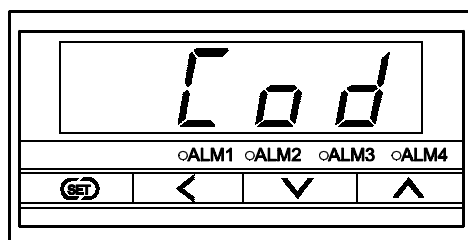
〔設定変更例〕

イニシャルコード「0」の、「SL1（入力の種類選択）」において、入力の種類を「K」から「J」に変更する場合の手順を以下に示します。
他のパラメータを設定する場合も、設定手順は同様です。

※図中の  の部分は暗点灯を示しています。

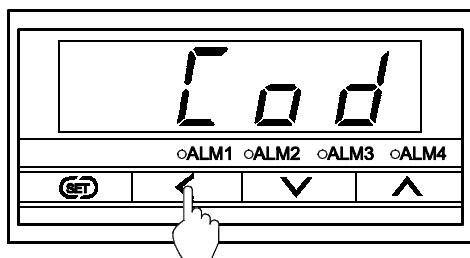
- ①イニシャルコード選択表示に切り換えます。
(P.1「1.1 イニシャル設定モードへの切換」参照)

イニシャルコード選択表示

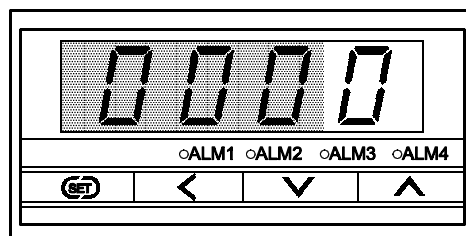


- ②シフトキーを押して、キャラクタ表示から設定値表示に切り換えます。

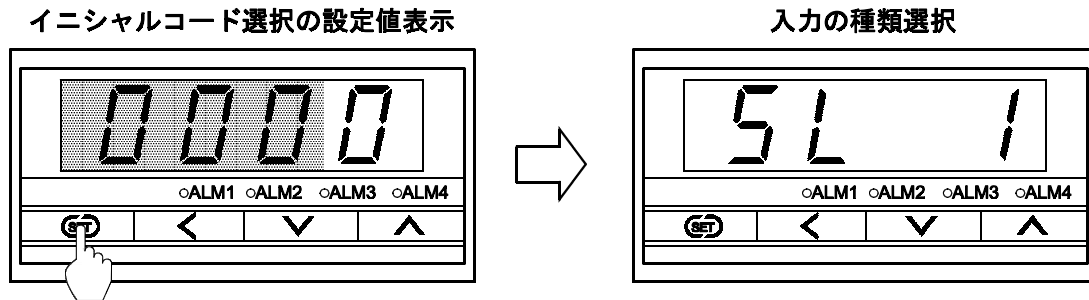
イニシャルコード選択のキャラクタ表示



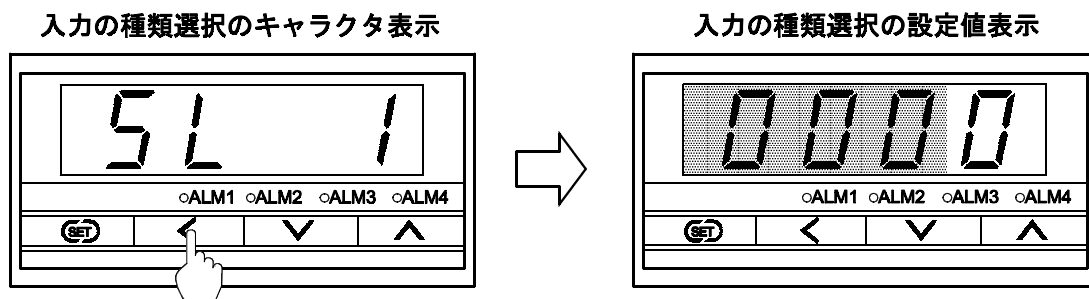
イニシャルコード選択の設定値表示



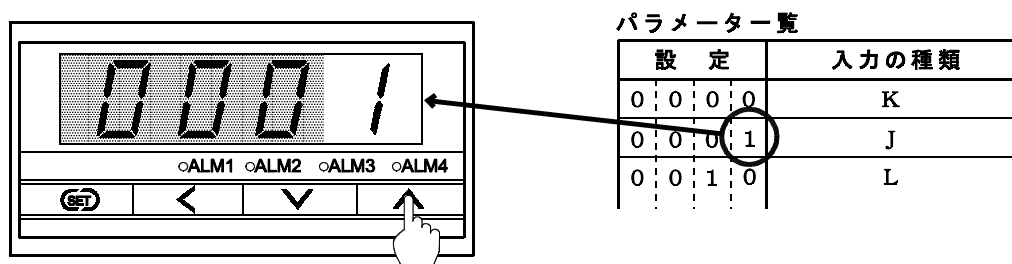
- ③ 「SL1（入力の種類選択）」はイニシャルコード「0」のグループにありますので、イニシャルコード（一位の桁）は変更せず、SETキーを押して「SL1（入力の種類選択）」に切り換えます。



- ④ シフトキーを押して、キャラクタ表示から設定値表示に切り換えます。



- ⑤ アップキーを押して、一位の桁を「1」に設定します。



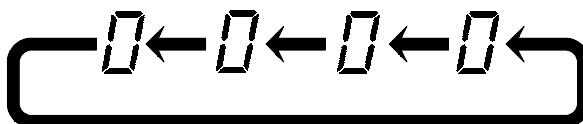
次ページへ続く

⑥SETキーを押して、次のパラメータに切り換えると、設定した値が登録されます。



参 考

- イニシャルコードが「1」または「2」の場合には、シフトキーを押して設定値表示にした後、一位の桁に「1」または「2」をアップキー、ダウンキーで入力します。
- 設定値が一位の桁以外の場合には、シフトキーを押して、明点灯を移動させます。明点灯はシフトキーを押すごとに以下のように移動します。



2.3 イニシャルコード0 (Cod=0) のパラメーター一覧

(1) SL1 (入力の種類選択)

注 意

設定は仕様（入力種類）に合わせてください。設定変更した場合には、必ず設定リミッタ（SLH、SLL）を設定しなおしてください。（P. 15、16参照）

出荷値は入力の種類によって異なります。

設 定				入力の種類	
0	0	0	0	K	熱 電 対 ※ 1
0	0	0	1	J	
0	0	1	0	L	
0	0	1	1	E	
0	1	0	0	N	
0	1	1	1	R	
1	0	0	0	S	
1	0	0	1	B	
1	0	1	0	W5Re/W26Re	
1	0	1	1	PL II	
0	1	0	1	T	
0	1	1	0	U	
1	1	0	0	Pt100Ω (JIS/IEC)	測 温 抵 抗 体 ※ 1
1	1	0	1	JPt100Ω (JIS)	
1	1	1	0	DC0～5V	電 圧 ※ 1
1	1	1	0	DC0～10V ※ 3	
1	1	1	1	DC1～5V	
1	1	1	0	DC0～20mA	電 流 ※ 1 ※ 2
1	1	1	1	DC4～20mA	

- ※ 1 : 熱電対入力、測温抵抗体入力、電圧・電流入力間での入力変更はできません。
 ※ 2 : 電流入力仕様の場合は、入力端子間に抵抗250Ωの取り付けが必要となります。
 ※ 3 : DC0～10V(Z-1010仕様)の場合には「1110」固定となります。ハードウェアが異なるため、入力種類の変更はできません。



(2) SL2 (単位設定)

注 意

単位は℃固定です。誤動作の原因になりますので、変更しないでください。

出荷値は「0000」です。

設 定				内 容
0	0	0	0	℃ 固定

(3) SL3 (第 1 警報種類選択、待機動作選択)

出荷値は「0001」です。

設 定				内 容	
			0	第 1 警報なし	第 1 警報の種類選択
			1	第 1 警報あり ※	
		0		上限入力値警報	
		1		下限入力値警報	
	0			励磁警報	
	1			非励磁警報	
0				待機動作なし	第 1 警報の待機動作選択
1				待機動作あり	

※第 1 警報が付加されていない機器では、選択できません。

(4) SL4 (第2警報種類選択、待機動作選択)

出荷値は「0001」です。

設 定				内 容	
		0		第2警報なし	第2警報の種類選択
		1		第2警報あり ※	
		0		上限入力値警報	
		1		下限入力値警報	
	0			励磁警報	
	1			非励磁警報	
0				待機動作なし	第2警報の待機動作選択
1				待機動作あり	

※第2警報が付加されていない機器では、選択できません。

(5) SL5 (第3警報種類選択、待機動作選択)

注 意

SL8 (オプション1の選択) で「アナログ出力あり」を選択した場合は、「第3警報あり」には設定しないでください。誤動作の原因になります。

出荷値は「0001」です。

設 定				内 容	
		0		第3警報なし	第3警報の種類選択
		1		第3警報あり ※	
		0		上限入力値警報	
		1		下限入力値警報	
	0			励磁警報	
	1			非励磁警報	
0				待機動作なし	第3警報の待機動作選択
1				待機動作あり	

※第3警報が付加されていない機器では、選択できません。

(6) SL6 (第4警報種類選択、待機動作選択)

注 意

SL9 (オプション2の選択) で「LED駆動用電源あり」を選択した場合は、「第4警報あり」には設定しないでください。誤動作の原因になります。

出荷値は「0001」です。

設 定			内 容	
		0	第4警報なし	第4警報の種類選択
		1	第4警報あり ※	
	0		上限入力値警報	
	1		下限入力値警報	
0			励磁警報	
1			非励磁警報	
0			待機動作なし	第4警報の待機動作選択
1			待機動作あり	

※第4警報が付加されていない機器では、選択できません。

(7) SL7 (特殊仕様1の選択)

出荷値は「0000」です。

設 定			内 容	
		0	第1警報インターロックなし	第1警報インターロックの選択
		1	第1警報インターロックあり	
	0		第2警報インターロックなし	第2警報インターロックの選択
	1		第2警報インターロックあり	
0			第3警報インターロックなし	第3警報インターロックの選択
1			第3警報インターロックあり	
0			第4警報インターロックなし	第4警報インターロックの選択
1			第4警報インターロックあり	

(8) SL8 (オプション1の選択)

注 意

- SL5 (第3警報種類選択、待機動作選択) で「第3警報あり」を選択した場合は、「アナログ出力あり」には設定しないでください。誤動作の原因になります。
- 一位の桁以外は使用しません。誤動作の原因になりますので、他の桁は変更しないでください。

出荷値は「0000」です。

設 定				内 容	
			0	アナログ出力なし	アナログ出力の選択
			1	アナログ出力あり ※	
0	0	0		「000□」固定	

※アナログ出力が付加されていない機器では、選択できません。

(9) SL9 (オプション2の選択)

注 意

- SL6 (第4警報種類選択、待機動作選択) で「第4警報あり」を選択した場合は、「LED駆動用電源あり」には設定しないでください。誤動作の原因になります。
- 一位の桁以外は使用しません。誤動作の原因になりますので、他の桁は変更しないでください。

出荷値は「0000」です。

設 定				内 容	
			0	LED駆動用電源なし	LED駆動用電源の選択
			1	LED駆動用電源あり ※	
0	0	0		「000□」固定	

※LED駆動用電源が付加されていない機器では、選択できません。

(10) SL10（特殊仕様2の選択）

出荷値は「0000」です。

設 定				内 容	
		0	第1警報 Z-124仕様なし	第1警報特殊仕様の選択	
		1	第1警報 Z-124仕様あり		
		0	第2警報 Z-124仕様なし	第2警報特殊仕様の選択	
		1	第2警報 Z-124仕様あり		
	0		第3警報 Z-124仕様なし	第3警報特殊仕様の選択	
	1		第3警報 Z-124仕様あり		
0			第4警報 Z-124仕様なし	第4警報特殊仕様の選択	
1			第4警報 Z-124仕様あり		

Z-124仕様なし：バーンアウト時に警報出力を強制的にONします。

Z-124仕様あり：バーンアウト時に警報動作を行いません。（通常の警報動作と同様です。）

(11) SL11（オプション3の選択）

注 意

- 誤動作の原因になりますので、通信機能と接点入力機能の両方を「あり」に設定しないでください。
- 上位2桁は使用しません。誤動作の原因になりますので、変更しないでください。

出荷値は「0000」です。

設 定				内 容	
			0	通 信 機 能 な し	通 信 機 能 の 選 択
			1	通 信 機 能 あ り ※ 1	
			0	接 点 入 力 機 能 な し	接 点 入 力 機 能 の 選 択
			1	接 点 入 力 機 能 あ り ※ 2	
0	0			「 0 0 □ □ 」 固 定	

※1：通信機能が付加されていない機器では、選択できません。

※2：接点入力機能が付加されていない機器では、選択できません。

2.4 イニシャルコード1 (Cod=1) のパラメーター一覧

(1) SLH (設定リミッタ上限)

注 意

リミッタを設定する場合、「入力レンジ表」(P.17)を参照して、設定してください。

■ 設定方法

シフトキーで桁移動を行い、アップキー、ダウンキーで設定値 (SV) の上限値を入力してください。

出荷値は、製品の仕様によって異なります。

入力の種類		設定範囲
熱 電 対	K	SLL～1372℃
	J	SLL～1200℃
	R	SLL～1769℃
	S	SLL～1769℃
	B	SLL～1820℃
	E	SLL～1000℃
	N	SLL～1300℃
	T	SLL～+400.0℃
	W5Re/W26Re	SLL～2320℃
	PL II	SLL～1390℃
	U	SLL～+600.0℃
	L	SLL～900℃
測 温 抵 抗 体	Pt100Ω (JIS/IEC) ※1	SLL～+649.0℃
	JPt100Ω (JIS)	SLL～+649.0℃
電 圧	DC0～5V	SLL～+9999 (プログラマブル目盛)
	DC0～10V ※2	
	DC1～5V	
電 流	DC0～20mA ※3	SLL～+9999 (プログラマブル目盛)
	DC4～20mA ※3	

SLL：設定リミッタ下限

※1：IEC（国際電気標準会議）は、JIS，DINおよびANSIと同等です。

※2：DC0～10V（Z-1010仕様）の場合にはハードウェアが異なるため、入力種類の変更はできません。

※3：電流入力仕様の場合は、入力端子間に抵抗250Ωの取り付けが必要となります。

(2) SLL (設定リミッタ下限)

注 意

リミッタを設定する場合、「入力レンジ表」(P. 17)を参照して、設定してください。

■ 設定方法

シフトキーで桁移動を行い、アップキー、ダウンキーで設定値 (SV) の下限値を入力してください。

出荷値は、製品の仕様によって異なります。

入力の種類		設定範囲
熱 電 対	K	0～SLH
	J	0～SLH
	R	0～SLH
	S	0～SLH
	B	0～SLH
	E	0～SLH
	N	0～SLH
	T	-199.9～SLH
	W5Re/W26Re	0～SLH
	PL II	0～SLH
	U	-199.9～SLH
	L	0～SLH
測温抵抗体	Pt100Ω (JIS/IEC) ※ 1	-199.9～SLH
	JPt100Ω (JIS)	-199.9～SLH
電 圧	DC0～5V	-1999～SLH (プログラマブル目盛)
	DC0～10V ※ 2	
	DC1～5V	
電 流	DC0～20mA ※ 3	-1999～SLH (プログラマブル目盛)
	DC4～20mA ※ 3	

SLH : 設定リミッタ上限

※ 1 : IEC (国際電気標準会議) は、JIS、DINおよびANSIと同等です。

※ 2 : DC0～10V (Z-1010仕様) の場合にはハードウェアが異なるため、入力種類の変更はできません。

※ 3 : 電流入力仕様の場合は、入力端子間に抵抗250Ωの取り付けが必要となります。

■入力レンジ表

①熱電対入力（TC）

入力の種類	入力レンジ
K (℄)	0 ～ 200 °C
K (℄)	0 ～ 400 °C
K (℄)	0 ～ 600 °C
K (℄)	0 ～ 800 °C
K (℄)	0 ～ 1000 °C
K (℄)	0 ～ 1200 °C
K (℄)	0 ～ 1372 °C
K (℄)	0 ～ 100 °C
K (℄)	0 ～ 300 °C
K (℄)	0 ～ 450 °C
K (℄)	0 ～ 500 °C
J (℄)	0 ～ 200 °C
J (℄)	0 ～ 400 °C
J (℄)	0 ～ 600 °C
J (℄)	0 ～ 800 °C
J (℄)	0 ～ 1000 °C
J (℄)	0 ～ 1200 °C
J (℄)	0 ～ 450 °C
R (℄)	0 ～ 1600 °C ※ 1
R (℄)	0 ～ 1769 °C ※ 1
R (℄)	0 ～ 1350 °C ※ 1
S (℄)	0 ～ 1600 °C ※ 1
S (℄)	0 ～ 1769 °C ※ 1
B (℄)	400 ～ 1800 °C
B (℄)	0 ～ 1820 °C ※ 1
E (℄)	0 ～ 800 °C
E (℄)	0 ～ 1000 °C
N (℄)	0 ～ 1200 °C
N (℄)	0 ～ 1300 °C
T (℄)	-199.9 ～ +400.0 °C ※ 2
T (℄)	-199.9 ～ +100.0 °C ※ 2
T (℄)	-100.0 ～ +200.0 °C
T (℄)	0.0 ～ 350.0 °C
W5Re/W26Re (℄)	0 ～ 2000 °C
W5Re/W26Re (℄)	0 ～ 2320 °C
PL II (℄)	0 ～ 1300 °C
PL II (℄)	0 ～ 1390 °C
PL II (℄)	0 ～ 1200 °C
U (℄)	-199.9 ～ +600.0 °C
U (℄)	-199.9 ～ +100.0 °C

次ページへ続く

前のページからの続き

入力の種類	入力レンジ
U (U)	0.0 ～ 400.0 °C
L (L)	0 ～ 400 °C
L (L)	0 ～ 900 °C

※ 1 … 0～399°Cは精度保証範囲外です。

※ 2 … -199.9～-100.0°Cは精度保証範囲外です。

② 測温抵抗体入力 (RTD)

入力の種類	入力レンジ
Pt100 (JIS/IEC)	-199.9 ～ +649.0 °C
Pt100 (JIS/IEC)	-199.9 ～ +200.0 °C
Pt100 (JIS/IEC)	-100.0 ～ +50.0 °C
Pt100 (JIS/IEC)	-100.0 ～ +100.0 °C
Pt100 (JIS/IEC)	-100.0 ～ +200.0 °C
Pt100 (JIS/IEC)	0.0 ～ 50.0 °C
Pt100 (JIS/IEC)	0.0 ～ 100.0 °C
Pt100 (JIS/IEC)	0.0 ～ 200.0 °C
Pt100 (JIS/IEC)	0.0 ～ 300.0 °C
Pt100 (JIS/IEC)	0.0 ～ 500.0 °C
JPt100 (JIS)	-199.9 ～ +649.0 °C
JPt100 (JIS)	-199.9 ～ +200.0 °C
JPt100 (JIS)	-100.0 ～ +50.0 °C
JPt100 (JIS)	-100.0 ～ +100.0 °C
JPt100 (JIS)	-100.0 ～ +200.0 °C
JPt100 (JIS)	0.0 ～ 50.0 °C
JPt100 (JIS)	0.0 ～ 100.0 °C
JPt100 (JIS)	0.0 ～ 200.0 °C
JPt100 (JIS)	0.0 ～ 300.0 °C
JPt100 (JIS)	0.0 ～ 500.0 °C

③ 電圧入力

入力の種類	入力レンジ
DC 0 ～ 5V	0.0 ～ 100.0%
DC 0 ～ 10V ※	
DC 1 ～ 5V	

※DC0～10V (Z-1010仕様) の場合にはハードウェアが異なるため、入力種類の変更はできません。

④ 電流入力

入力の種類	入力レンジ
DC 0 ～ 20mA	0.0 ～ 100.0%
DC 4 ～ 20mA	

※電流入力仕様の場合は、入力端子間に抵抗250Ωの取り付けが必要となります。

(3) PGdP (小数点位置設定)

注 意

小数点位置設定は、計器の仕様が電圧入力（電流入力）の場合のみ表示されます。

出荷値は「0001」です。

設 定				内 容	
			0	小数点以下なし	小数点位置設定
			1	小数点以下 1 桁	
			2	小数点以下 2 桁	
			3	小数点以下 3 桁	
0	0	0		「 0 0 0 □ 」 固定	

(4) dF (デジタルフィルタの設定)

設定範囲：0～100秒（「0」設定でPVデジタルフィルタOFF）

出 荷 値：1

2.5 イニシャルコード2 (Cod=2) のパラメーター一覧

イニシャルコード2のパラメータは、表示のみ行います。

(1) TCJ (周囲温度ピークホールド値)

計器裏面端子部の周囲温度の最大値を記憶し、表示します。
入力の種類が、熱電対入力の場合のみ表示します。

表示範囲：-10～+100℃ 表示分解能：1℃

(2) WTH (稼働時間〔上位〕)

通電時間の積算値の上位2桁を表示します。稼働時間が10万時間を超えた場合は、稼働時間の積算値がリセットされます。

表示範囲：0～10 (上位、下位あわせて0～100000まで表示可能)
表示分解能：1万時間

(3) WTL (稼働時間〔下位〕)

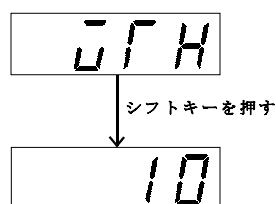
通電時間の積算値 (下位4桁) を表示します。
9999時間を超える場合は、桁が稼働時間表示〔上位〕 (WTH) に移動します。

表示範囲：0000～9999 表示分解能：1時間

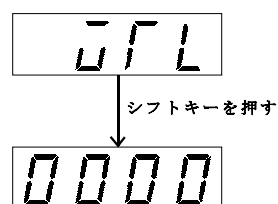
●稼働時間表示例：稼働時間の積算値が100,000時間の場合

100,000時間の上位2桁を、稼働時間表示〔上位〕 (WTH) に表示し、下位4桁を稼働時間表示〔下位〕に表示します。

稼働時間表示 (上位)



稼働時間表示 (下位)



3. 通信イニシャル識別子

参 考

- 仕様によって、通信できない識別子もありますのでご注意ください。通信データの構造等は、AE500通信取扱説明書 [IMAE02-J□] を参照してください。
- データの桁数はすべて6桁です。

(属性 R0 : 読み込み専用 R/W : 読み込み/書き込み兼用)

名 称	識別子	データ範囲	出荷値	属性
イニシャル設定モード 切 換	I O	0 : イニシャル設定モードの設定 項目R0 1 : イニシャル設定モードの設定 項目R/W	0	R/W
コード設定 [Cod]	I P	0～2	0	R/W
入力種類の選択 [SL1]	X I	0～15 ※ 1 参照	仕様により 異なる	R/W
単位設定 [SL2]	P U	0 : °C 固定	0	R/W
第 1 警報種類選択 [SL3]	X A	0～15 ※ 2 参照	仕様により 異なる	R/W
第 2 警報種類選択 [SL4]	X B			
第 3 警報種類選択 [SL5]	X C			
第 4 警報種類選択 [SL6]	X D			
特殊仕様 1 の選択 [SL7]	Q A	0～15 ※ 3 参照	0	R/W
オプション 1 の選択 [SL8]	F C	0 : アナログ出力なし ※ 4 参照 1 : アナログ出力あり	仕様により 異なる	R/W
オプション 2 の選択 [SL9]	F D	0 : LED駆動用電源なし ※ 5 参照 1 : LED駆動用電源あり	仕様により 異なる	R/W
特殊仕様 2 の選択 [SL10]	Z 1	0～15 ※ 6 参照	0	R/W
オプション 3 の選択 [SL11]	S I	0 : 通信機能なし ※ 7 参照 1 : 通信機能あり 2 : 接点入力機能あり	仕様により 異なる	R/W

次ページへ続く

前のページからの続き

名 称	識別子	データ範囲	出荷値	属性
設定リミッタ上限 [SLH]	X V	入力レンジ表を参照 (P. 17、18)	仕様により異なる	R/W
設定リミッタ下限 [SLL]	X W			
小数点位置設定 [PGdP]	X U	0 : 小数点以下0桁 1 : 小数点以下1桁 2 : 小数点以下2桁 3 : 小数点以下3桁	1	R/W
デジタルフィルタの 設定 [dF]	F 1	0～100秒	1	R/W
周囲温度 ピークホールド [TCJ]	H p	－10～＋100℃	———	RO
稼働時間表示（上位） [WTH]	U T	0～100	———	RO
稼働時間表示（下位） [WTL]	U U	0～9999	———	RO

※ 1・・・入力種類選択一覧

入力の種類		データ
熱 電 対	K	0
	J	1
	L	2
	E	3
	N	4
	T	5
	U	6
	R	7
	S	8
	B	9
	W5Re/W26Re	10
	PL II	11
測温抵抗体	Pt100Ω (JIS/IEC)	12
	JPt100Ω (JIS)	13
電 圧	DC0～5V	14
	DC0～10V ※	14
	DC1～5V	15
電 流	DC0～20mA	14
	DC4～20mA	15

※DC0～10V（Z-1010仕様）の場合、データは「14」固定です。ハードウェアが異なるため、入力種類の変更はできません。

※ 2 … 0 : 警報なし
1 : 上限警報
3 : 下限警報
5 : 上限非励磁警報
7 : 下限非励磁警報
9 : 待機付上限警報
11 : 待機付下限警報
13 : 待機付上限非励磁警報
15 : 待機付下限非励磁警報

★ 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14は設定しないでください。誤動作の原因になります。

※ 3・・・特殊仕様 1 の選択

(○：インターロックあり ×：インターロックなし)

設定値	第1警報 インターロック	第2警報 インターロック	第3警報 インターロック	第4警報 インターロック
0	×	×	×	×
1	○	×	×	×
2	×	○	×	×
3	○	○	×	×
4	×	×	○	×
5	○	×	○	×
6	×	○	○	×
7	○	○	○	×
8	×	×	×	○
9	○	×	×	○
10	×	○	×	○
11	○	○	×	○
12	×	×	○	○
13	○	×	○	○
14	×	○	○	○
15	○	○	○	○

※ 4・・・ 第 3 警報とアナログ出力は、どちらか一方しか使用できません。

※ 5・・・ 第 4 警報とLED駆動用電源は、どちらか一方しか使用できません。

※ 6・・・ 特殊仕様 2 の選択

(○ : Z-124仕様あり × : Z-124仕様なし)

設定値	第 1 警報 Z-124仕様	第 2 警報 Z-124仕様	第 3 警報 Z-124仕様	第 4 警報 Z-124仕様
0	×	×	×	×
1	○	×	×	×
2	×	○	×	×
3	○	○	×	×
4	×	×	○	×
5	○	×	○	×
6	×	○	○	×
7	○	○	○	×
8	×	×	×	○
9	○	×	×	○
10	×	○	×	○
11	○	○	×	○
12	×	×	○	○
13	○	×	○	○
14	×	○	○	○
15	○	○	○	○

※ 7・・・ 通信機能と接点入力機能は、どちらか一方しか使用できません。

記載内容は、改良のためお断りなく変更することがあります。ご了承ください。

RKc® 理化工業株式会社 RKC INSTRUMENT INC.

●本 社	〒146-8515	東京都大田区久が原 5-16-6	TEL (03) 3751-8111(代)	FAX (03) 3754-3316
●東北営業所	〒024-0061	岩手県北上市大通 2-11-25-302	TEL (0197) 61-0241(代)	FAX (0197) 61-0242
●北関東営業所	〒300-3595	茨城県結城郡八千代町佐野 1164	TEL (0296) 48-1121(代)	FAX (0296) 49-2839
●西東京営業所	〒191-0061	東京都日野市大坂上 2-8-11 美夜湖ビル	TEL (0425) 81-5510(代)	FAX (0425) 81-5571
●埼玉営業所	〒349-0122	埼玉県蓮田市上 2-4-19-101	TEL (048) 765-3955(代)	FAX (048) 765-3956
●静岡営業所	〒420-0074	静岡県静岡市四番町 9-19-302	TEL (054) 272-8181(代)	FAX (054) 272-8183
●名古屋営業所	〒451-0035	名古屋市西区浅間 1-1-20 クラウチビル	TEL (052) 524-6105(代)	FAX (052) 524-6734
●長野営業所	〒388-8004	長野県長野市篠ノ井会 855-1 エーワンビル	TEL (026) 299-3211(代)	FAX (026) 299-3302
●大阪営業所	〒533-0033	大阪市東淀川区東中島 1-18-5 新大阪丸ビル	TEL (06) 6322-8813(代)	FAX (06) 6323-7739
●広島営業所	〒733-0007	広島市西区大宮 1-14-1 宮川ビル	TEL (082) 238-5252(代)	FAX (082) 238-5263
●茨城事業所	〒300-3595	茨城県結城郡八千代町佐野 1164	TEL (0296) 48-1121(代)	FAX (0296) 49-2839

技術的なお問い合わせは、カスタマサービス専用電話 TEL (03) 3755-6622 をご利用ください。